

| | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------|----------------------|-------------|-------------------------------------|----|-----------|
| 事業種類 | ため池の補強等 | | 事業名 | 県営ため池等整備 | | | |
| 市町村名 | 坂城町 | ふりがな 箇所名 | おのざわ うえのいけ 小野沢上の池 | | 工期 (年度) | 当初 | H17 ~ H19 |
| 当初事業費 | 55,000 千円 | | 費用対 効果 | 当初 | 1.8 | 実績 | H17 ~ H19 |
| 最終事業費 | 45,250 千円 | | | 評価時 | 2.2 | | |
| 事業目的 | 本ため池は坂城町南西部の水田・畑地帯に安定した用水を供給するため明治3年に築造されたが、築造後130年余を経過し堤体は脆弱化が進行、著しい漏水や洪水調整能力の不足により洪水時に決壊が危惧されている状態であった。ため池決壊に至った場合、下流域の集落・農地の被害は甚大なものとなるため、改修工事を行い、農業生産の安定と農村の安全性の確保を図る。 | | | | | | |
| 事業等経過 | 当初計画内容 | 堤体工L=62m、取水施設工N=1箇所、余水吐工N=1箇所 | | | | | |
| | 最終事業内容 | 堤体工L=62m、取水施設工N=1箇所、余水吐工N=1箇所 | | | | | |
| | 変更理由 | | | | | | |
| 評価項目 | | | | | | | ランク |
| 事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない) | | | | | | | B |
| ため池の安全性が高まり、農村の安心・安全が確保されるとともに、施設の維持管理軽減が図られ農業生産の安定にも寄与し、事業目的が達成された。 | | | | | | | |
| 事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい) | | | | | | | B |
| アンケート調査の結果では自然環境の変化について、満足・おおむね満足とする回答は約8割であり、事業実施に伴う自然環境への影響はほとんどない。 | | | | | | | |
| 施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない) | | | | | | | A |
| 関係水利組合により、施設の草刈りや、かんがい期のゲート操作など、適切に維持管理されている。 | | | | | | | |
| 地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) | | | | | | | A |
| 事業の必要性、地域社会にとっての重要性について、約8割の方から評価されている。 | | | | | | | |
| 改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要) | | | | | | | A |
| 当事業としての改善措置の必要性は認められない。 | | | | | | | |
| 事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している —:特になし) | | | | | | | — |
| 特になし。 | | | | | | | |
| 部意見 | ため池の安全性が高まり、かつ用水の安定供給ができ、所期の目的が達成された。また、周辺環境への影響もほとんど無く、事業効果が十分に発揮されている。 | | | 行政改革 課意見 | 農業用水の安定供給と災害の未然防止が図られ、事業の目的を達成している。 | | |
| 今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等 | | | | | | | |
| 農業用水の安定確保は基より、災害を未然に防止する目的から、地域住民の評価は非常に高い。引き続き、農業面での安心安全に加え、農業用水以外の多面的機能や自然環境などに配慮した計画策定により、地域住民に親しまれる施設となるような事業推進を図っていきたい。 | | | | | | | |

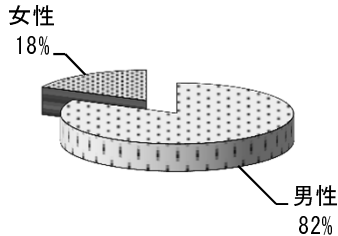
アンケートの方法及び対象

・坂城町(小野沢集落、他)の住民83人に対し、アンケートを実施した。

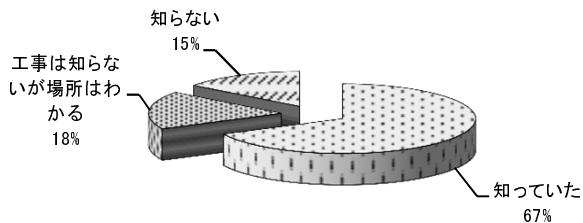
| | |
|-----|---------------------|
| 配布数 | 83 |
| 回収数 | 34 |
| 回収率 | 41% (男性 82% 女性 18%) |

アンケート結果

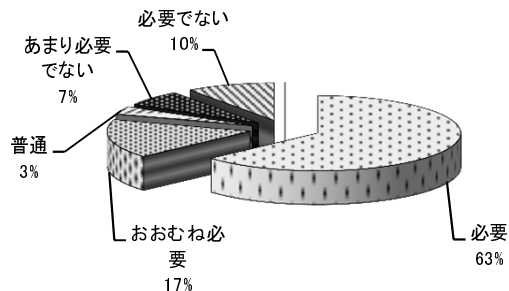
問1 性別



問4 事業の認知度について



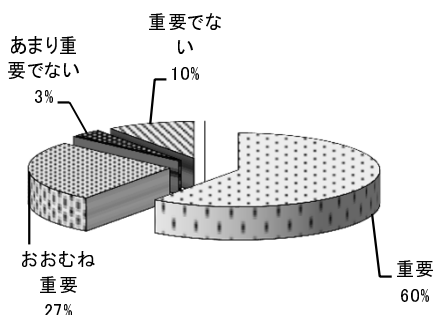
問5-1 事業の必要性について



問5-2 主な理由

- ・石垣の崩れや漏水があり、大雨などで池堤の決壊により下流の住宅や農地に災害の危険性があった。
- ・少雨地域のこのため池は、田畑への用水の安定供給に欠かせない施設であり必要。
- ・自宅から離れており、自分の生活に直接関係ないため。
- ・崩れそうにない。
- ・高すぎるため。

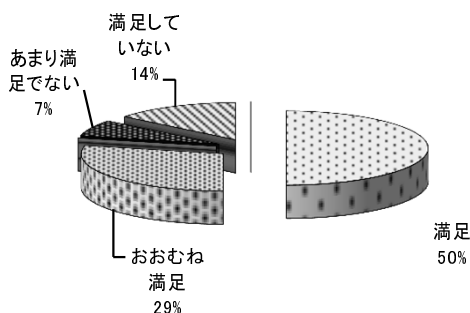
問6-1 地域社会にとっての重要性について



問6-2 主な理由

- ・営農、自然環境、防火など、大切な水資源の有効利用のため。
- ・坂城町は降水量が多くないため、今年のような水不足にもつつがなく水を享受でき、農作物を育てる上でありがたく重要。
- ・池堤の決壊による下流集落への被害の不安がなくなった。
- ・先人が苦勞して造った池であり大切に守って欲しい。また、専門の方に管理して欲しい。
- ・高すぎるため。

問7-1 事業の完成結果について

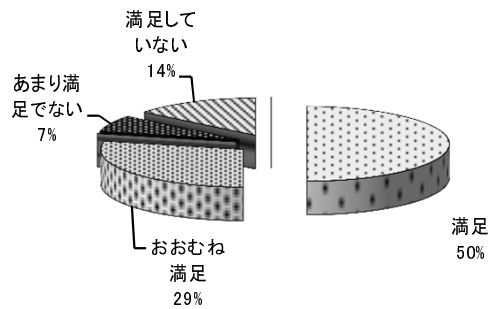


問7-2 主な理由(改善点)

- ・漏水が止まり、大雨でも池堤の決壊の心配がなくなった。
- ・少雨であるこの地域で、農業用水はもちろん、万が一の火災等の対応にも必要。
- ・用排水設備が良くできて、非常に扱いやすくなった。
- ・安全性に富み、水もきれいで気持ちが良い。
- ・石積から草が生え、草刈が大変。
- ・災害等何も起こっておらず、変化がないためわからない。
- ・工事をどうするべきか、専門知識がなくわからない。
- ・特に恩恵がない。
- ・高すぎるため。

アンケート結果

問 8 - 1 自然環境の変化について



問 8 - 2 主な理由

- ・ 石積など池周りがきれいになって景観が良くなった。
- ・ 変わらない。ため池から流れる川では、ホタルも増えて今年も舞った。
- ・ 自宅から離れているため、施工前、施工後の状況を知らない。
- ・ 除草のため草魚を入れているので、水辺の葦・ヒシ等の水草が無く、水生昆虫の減少と水質悪化で自然環境は以前と変化なし。昔はタニシ等も数多くいた。外来の草魚を入れるのは疑問である。

問 9 その他ご意見・ご要望

- ・ 池の周囲にフェンス等をつけて欲しい。特に子供たちには危険なので、事故が起きないようにいつも心配している。
- ・ 今回の工事もかなり費用が掛かったが、この池と下の池は今後もこの地域に必要な存在であると感じている。維持管理に金が掛かるが、この地域の財産であるので、県の補助をお願いしたい。
- ・ 今年のように水が不足した場合、工事をしてもらい役に立ちました。
- ・ 地域のための池なので、年 2 回実施される堰堤の草刈など自分達で協力し合って、大切に守っていききたいと思う。
- ・ 工事をして貰った事で水田の大切さを知った。
- ・ ため池の工事により安心して暮らせるようになった。
- ・ 米は水があればできる作物である。山間部の農地が荒れているとか、米が余っているのが現状かもしれないが、池などの改修は大切なことだと思っている。もし世界的な異常気象で食糧不足になっても、日本の農地は全滅しない。なぜなら山間部の農地は山が貯えた水が池になり、その水で息ができるから。荒れた農地だって水の確保があれば、必要に応じて復活できる。最後に立派に改修していただき、ありがとうございました。
- ・ 上平には他にもため池がありますが、要望・問い合わせがあったら速対応して頂きたいと思います。
- ・ 一級河川福沢川は石積みが見出ている場所が多く有る。また、川の中に立木があり大水が出たら危険が生じるので、早く補修してもらいたい。

施工前写真

<上流より>



<下流より>



施工後(現況)写真

<上流より>



<下流より>

